

平成27年（2015）11月 入域観光客数概況

11月の観光客数は、61万9,600人
対前年（H26）同月比 +5万5,100人、+9.8%
～11月までの累計で早くも前年実績を上回り過去最高を更新～

入域状況

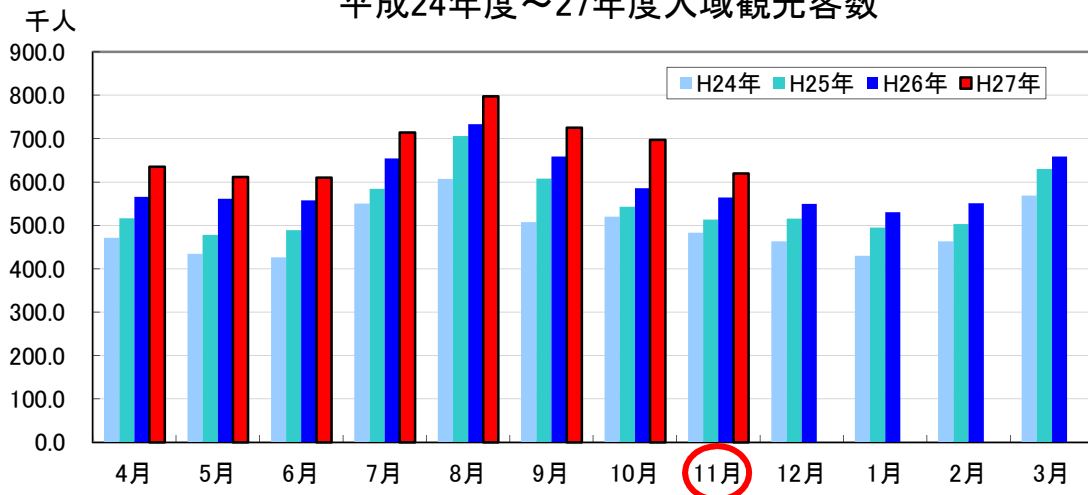
入域観光客数（平成26年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
国内客	506,200 人	508,100 人	△ 1,900人	△ 0.4%	81.7%
外国客	113,400 人	56,400 人	+ 57,000人	+ 101.1%	18.3%
合計	619,600 人	564,500 人	+ 55,100人	+ 9.8%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成26年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
国内客	506,200 人	508,100 人	△ 1,900人	△ 0.4%	83.4%
外国客	101,000 人	54,900 人	+ 46,100人	+ 84.0%	16.6%
合計	607,200 人	563,000 人	+ 44,200人	+ 7.9%	100.0%

平成24年度～27年度入域観光客数



国内客 入域状況

11月は、修学旅行が好調であったものの、全国的なふるさと旅行券事業の実施による各方面との競合による影響や、前年に比べて国内クルーズ船の寄港が少なかったため、海路客が減少したことから、前年を下回った。

12月は、引き続き、各方面との競合が懸念されるものの、各方面ともに旅行商品販売の取り組み強化がみられ、離島方面を中心に予約状況が好調となっていること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

11月は、韓国のLCCの新規就航を含む航空路線の拡充や、例年10月までとなっていたクルーズ船の寄港があったこと等により、空路・海路ともに好調に推移し、前年の2倍の伸びとなった。

12月以降は、引き続き、クルーズ船の寄港予定があることや、航空路線が大幅に拡充した韓国を中心に増加する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	248,200 人	249,200 人	△ 1,000人	△ 0.4%	49.0%
関西方面	98,400 人	94,800 人	+ 3,600人	+ 3.8%	19.4%
福岡方面	67,600 人	66,600 人	+ 1,000人	+ 1.5%	13.4%
名古屋	40,700 人	40,800 人	△ 100人	△ 0.2%	8.0%
その他	51,300 人	56,700 人	△ 5,400人	△ 9.5%	10.1%
合計	506,200 人	508,100 人	△ 1,900人	△ 0.4%	100.0%

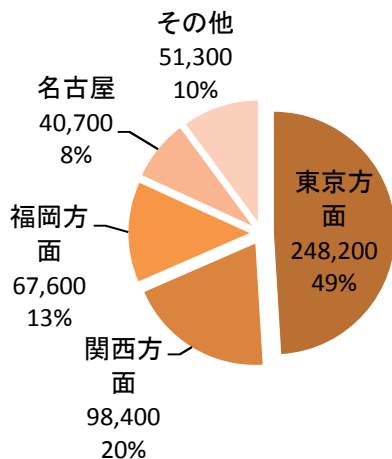
※国内海路客3,500人を含む(鹿児島2,100人、大阪100人、横浜1,300人)

外国客 国籍別入域状況

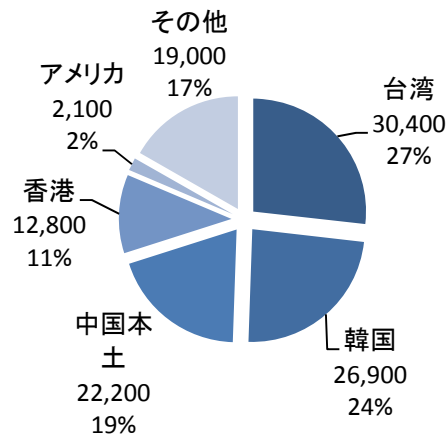
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H27年度	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	30,400 人	30,400 人	17,200 人	+ 13,200人	+76.7%	26.8%
韓国	26,900 人	26,900 人	15,100 人	+ 11,800人	+78.1%	23.7%
中国本土	22,200 人	22,200 人	7,300 人	+ 14,900人	+204.1%	19.6%
香港	12,800 人	12,800 人	9,100 人	+ 3,700人	+40.7%	11.3%
アメリカ	2,100 人	2,100 人	1,600 人	+ 500人	+31.3%	1.9%
その他	19,000 人	6,600 人	6,100 人	+ 12,900人	+211.5%	16.8%
合計	113,400 人	101,000 人	56,400 人	+ 57,000人	+101.1%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	21,300 人	21,300 人	+23.8%	26.5%	9,100 人	9,100 人	皆増	27.7%
韓国	26,900 人	26,900 人	+84.2%	33.4%	0 人	0 人	-	0.0%
中国本土	12,900 人	12,900 人	+76.7%	16.0%	9,300 人	9,300 人	皆増	28.3%
香港	12,800 人	12,800 人	+40.7%	15.9%	0 人	0 人	-	0.0%
アメリカ	1,300 人	1,300 人	+44.4%	1.6%	800 人	800 人	+14.3%	2.4%
その他	5,300 人	5,300 人	+51.4%	6.6%	13,700 人	1,300 人	+426.9%	41.6%
合計	80,500 人	80,500 人	+53.0%	100.0%	32,900 人	20,500 人	+765.8%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

11月は、修学旅行は好調に推移したものの、羽田－那覇路線の座席数減や、全国的なふるさと旅行券事業の実施による各方面との競合による影響等から、前年を下回った。

12月以降は、引き続き、各方面との競合が懸念されるものの、羽田－石垣路線の期間増便や、スポーツイベント等による団体需要があること等から、堅調に推移する見込み。

大阪

11月は、伊丹－那覇路線の拡充等や、各航空会社において、離島方面を中心に好調に推移したことから、前年を上回った。

12月以降は、引き続き、離島方面が好調なことや、各旅行会社による旅行商品の予約状況が好調となっていること等から、好調に推移する見込み。

福岡

11月は、各旅行会社による離島商品の販売が好調であったこと、福岡－宮古島への直行チャーター便も好調であったこと等から、前年を上回った。

12月以降は、スポーツイベント等による団体需要があることや、離島を中心とした旅行商品の予約状況が好調となっていること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

11月は、一部航空会社による団体旅行等が伸び悩んだことや、全国的なふるさと旅行券事業の実施による各方面との競合があったこと等から、前年をやや下回った。

12月以降は、ANAの名古屋－那覇路線の年末年始における期間増便があることや、各旅行会社による旅行商品の造成・販売の取り組み強化がみられること等から、堅調に推移する見込み。

台湾

11月は、前年に比べて航空路線の拡充や、例年10月までとなっていたクルーズ船の寄港があったこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。

12月以降は、引き続き、クルーズ船の寄港が予定されていること等から、海路客を中心に順調に増加する見込み。

韓国

11月は、韓国LCC航空会社ジンエアーの釜山－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充や、企業やファミリー等の団体旅行が好調に推移したこと等により、前年を上回った。

12月以降は、引き続き、航空路線の拡充や、離島へのチャーター便が予定されていること、正月の連休などによる旅行需要が見込まれること等から、順調に増加する見込み。

中国本土・北京

11月は、中国のオフシーズンになるものの、前年同月に比べて航空路線が拡充したことにより、空路客を中心に増加し、前年を上回った。

12月以降は、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、正月の連休などによる旅行需要が見込まれること等から、順調に増加する見込み。

中国本土・上海

11月は、前年同月に比べて上海－那覇路線の増便等による航空路線の拡充や、上海発クルーズ船の寄港があったことにより、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。

12月以降は、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港が予定されていること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

香港

11月は、前年同月に比べて香港－那覇路線の増便による航空路線が拡充したことにより、空路客を中心に増加し、前年を上回った。

12月以降は、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港が予定されていること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。